

地区名:福島地域

お宝認定

水無神社例大祭 水交会 お祭りへの熱い想い



「小さい頃から、
父親が神輿を担ぐ姿をず
っと見ていて憧れていまし
た。精一杯頑張ります！」

神様を祭るための準備も
水交会の大切な役目。



『神輿まくり』の立役者である水交会。お祭りに臨むために、お宮の掃除や粋持ち会での決意表明をされています。今年初めて粋持ちになった18歳の青年は「小さい頃から、父親の神輿を担ぐ姿を見てずっと憧れていました。今年ようやく麻のはっぴを着て神輿を担げるようになって嬉しいです。精一杯頑張ります！」と深々と頭を下げ、決意表明をしていました。

木曾の伝統を若い世代に繋ぎ、木曾の文化を守る。華やかな舞台の裏側の役割や努力を感じました。

小さい頃からお祭りを見てきましたが、水交会の方々の熱い想いを知ることで、違った見方でお祭りを楽しむことができました。取材をさせていただき、私自身も木曾の文化を誇りに思う事が出来ました。



[意味付け]地域貢献、文化伝承、学び、仲間づくり、生きがい、世代交流